

【ご質問】

トイホビーユニットの上半期の営業利益が前年同期比で2倍以上になっている理由を教えてください。

【ご回答】

プラモデル、フィギュアなどのコレクターズアイテム、カードといった利益率の高い商品が国内外で好調に推移したことにより、粗利率が改善したことが主な要因です。

【ご質問】

ハイターゲット層向けのトイホビー事業は、トイホビーユニット全体の売上高のうち、どれくらいの割合を占めているのでしょうか？また、現地のビジネスパートナーと北米に設立した新会社について教えてください。

【ご回答】

ハイターゲット層向けビジネスはトイホビーユニット全体の売上高のうち約3割となっています。10月に設立した新会社 BANDAI NAMCO Collectibles LLC.(屋号:BLUEfin)は、IPファンの多い北米地域において、コレクターズアイテムやプラモデルなどのハイターゲット層向けトイホビー事業のさらなる拡大、強化、スピードアップをはかるため、現地でのビジネスパートナーと設立しました。新会社は、強い流通網を生かし、今後日本の各事業との連携を密に行い、ハイターゲット層向け商品のさらなる販売拡大をはかる予定です。

【ご質問】

「ドラゴンボール」について、国内トイホビー事業の売上高が前年同期比で大幅に伸びている要因を教えてください。

【ご回答】

日本においてはデジタルカードが、海外においては日本から輸出しているトレーディングカードが人気となり、カード商品が売上高に貢献しているほか、ハイターゲット層向けフィギュアも好調に推移しています。「ドラゴンボール」は12月から日本を皮切りに新作映画が公開されますので、商品・サービスにおいてもますますIPを盛り上げていきたいと思っております。

【ご質問】

中期計画の重点戦略で中国市場への本格展開を掲げていますが、具体的にはどのように推進していくのでしょうか？

【ご回答】

成長が続く中国のエンターテインメント市場に本格的に取り組むため、2017年12月に中国・上海に設立した持株会社を中心に、現地に根付いたIP軸戦略の事業展開を行います。既にサービスを行っているネットワークコ

コンテンツ事業を行うネットワークエンターテインメントユニットの事業会社につき、玩具ホビーユニットなどにおいても会社設立の準備を行っており、本格展開を推進していきます。

【ご質問】

中国における玩具ホビー事業の状況は？

【ご回答】

8月に中国内地で初となる「ガンプラ」を主体としたフラッグシップショップを上海にオープンし、好評です。また、「ウルトラマン」に関連した商品も人気です。過去のテレビ放送に加え、近年はネット配信による作品の視聴も増えており、子どもから大人まで、複層的にファンが拡大していることが背景にあります。今後は既存の流通に加え中国の大手通販サイトといったネットインフラも活用するなど、さらなる流通整備に取り組み、積極的にビジネスを展開していきます。

【ご質問】

家庭用ゲームにおけるダウンロード比率を教えてください。また、家庭用ゲーム「機動戦士ガンダム バトルオペレーション2」が好調とのことですが、人気の指標となる数字がありましたら教えてください。

【ご回答】

家庭用ゲームにおけるダウンロード比率(フルパッケージのみ)は36%となりました。「機動戦士ガンダム バトルオペレーション2」(2018年7月リリース)は、60万ダウンロードを突破(2018年9月末時点)し、好調に推移しています。

【ご質問】

ネットワークコンテンツにおける売上内訳と海外比率を教えてください。

【ご回答】

2019年3月期上半期の売上実績は、合計1,023億円(ゲームアプリケーション:939億円、SNS:37億円、PCオンラインゲーム他:47億円)、海外比率28%となりました。

【ご質問】

ネットワークコンテンツの運営にあたり、どのようにユーザー分析を行っていますか？

【ご回答】

コンテンツを長く楽しんでいただくためには、ユーザーがどのようにそのコンテンツと向き合っているかを分析し、

スピーディーにニーズに対応していくことが重要だと考えています。その成果が、「ドラゴンボール Z ドッカンバトル」や「アイドルマスター」シリーズといったロングテールタイトルにつながっていると思います。今後もユーザーに寄り添いながら、長く楽しんでいただける運営に努めていきます。

【ご質問】

「機動戦士ガンダム」の今後の展開をお聞かせください。

【ご回答】

「機動戦士ガンダム」は2019年にテレビ放送40周年を迎えます。詳細は近日発表予定ですが、従来のファン向けだけでなく幅広い層に向けた施策を展開していきます。その一例として、先般ハリウッドでのガンダム実写映画化を発表しました。この他にも商品やイベントなどさまざまな仕掛けを準備していますので、どうぞご期待ください。

以上

【見直しに関する注意事項】

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※決算説明会の質疑の一部を抜粋し概要を掲載しております。